

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

【10年分のFXノウハウを、なんと3ステップで学べるシリーズ】

FX 鉄板トレード手法 ライトレード編



ようこそ！

FXの目的は、ズバリ「儲ける」ことです。

こう言ってしまうと身も蓋もありませんが、それ以外の目的はありません。

FXは、上がると思えば買い、下がると思えば売ればいいのです。

話はとても単純です。

しかし「いざトレード」となると、なかなかうまくいきません。

具体的に何をどうすればいいのか、わからないのです。ネットや書籍などで探しても、答えは出てきません。

では、どうすればいいのでしょうか？

答えの書いてある情報を手に入ればいいのです。勝ち組トレーダーが何年も実践してきたトレード手法を知ることは、極めて重要で、大きな成果を期待できます。

この資料では、どのタイミングでポジションを取ればいいのか？ 通貨ペアと時間足は？ リスク管理は？ 具体的な解説を付けてあるので、あまり時間をかけずに理解することができます。

FXの利点

FXは、短期間で大きなお金を稼ぐチャンスがある、とても優れた投資法です。お金が「かけ算」で増えていくため、ブログやアフィリエイト、ユーチューバなどより効率的に収入を得られます。

FXで勝ち組になるために、特別な才能は必要ありません。英会話も不要です。運転免許証もいりません。

安いパソコン1台で、世界中どこにいてもトレードできます。日本にいる必要はありません。世界を旅しながらトレードをして収入を得ることも可能です。

FXは24時間市場が開いているので、いつでもトレードできます。昼間時間のある主婦なら、昼間トレードすることができます。夜しか時間の取れない会社員なら、夜トレードすることができます。

FXトレード手法は一生ものの技術です。一度マスターしてしまえば、日本株、米国株、新興国株、ゴールド、仮想通貨、暗号資産など、あらゆる市場でトレードできるようになります。

日本の経済に左右されず収入を得ることができるため、生活が安定します。

つまりFXは、21世紀に必須の技術なのです。

10年分のFXノウハウを、なんと3ステップで学べるシリーズ

当資料は、次の3ステップ構成になっています。

- ステップ1：トレードを効率化するワザを取得する
- ステップ2：トレードロジックをマスターする
- ステップ3：さらに儲けるためのテクニックをマスターする

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

それでは、FX成功の秘密をあなたに公開しましょう。

メタトレーダー4 (MT4) の効率化

効率的にFXトレードをするには、メタトレーダー4 (MT4) の便利な機能を使いこなす必要があります。

ここでは、あなたのMT4 で使える「時短ワザ」を3つご説明します。

この「時短ワザ」は、当資料の中で紹介する手法でも必須ですので、ぜひ最初にマスターしてください。

とてもカンタンですので、すぐに活用できるようになります。

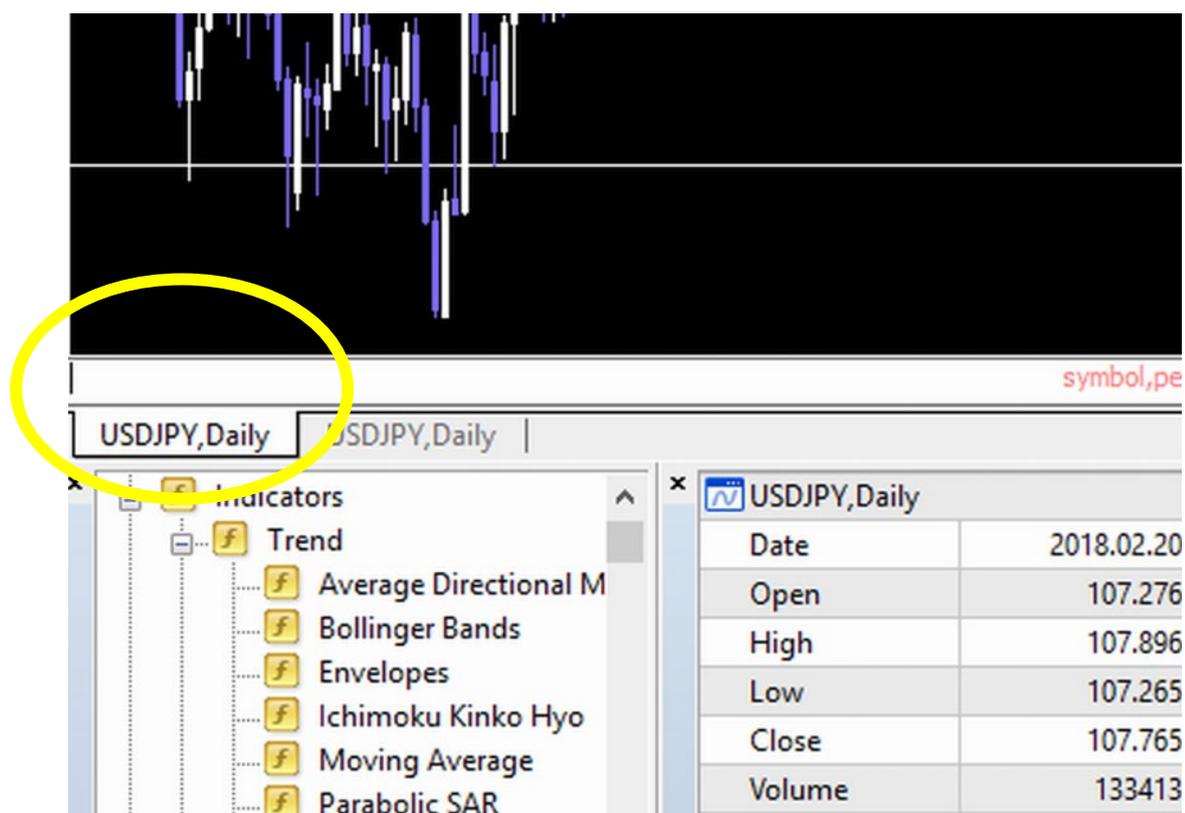
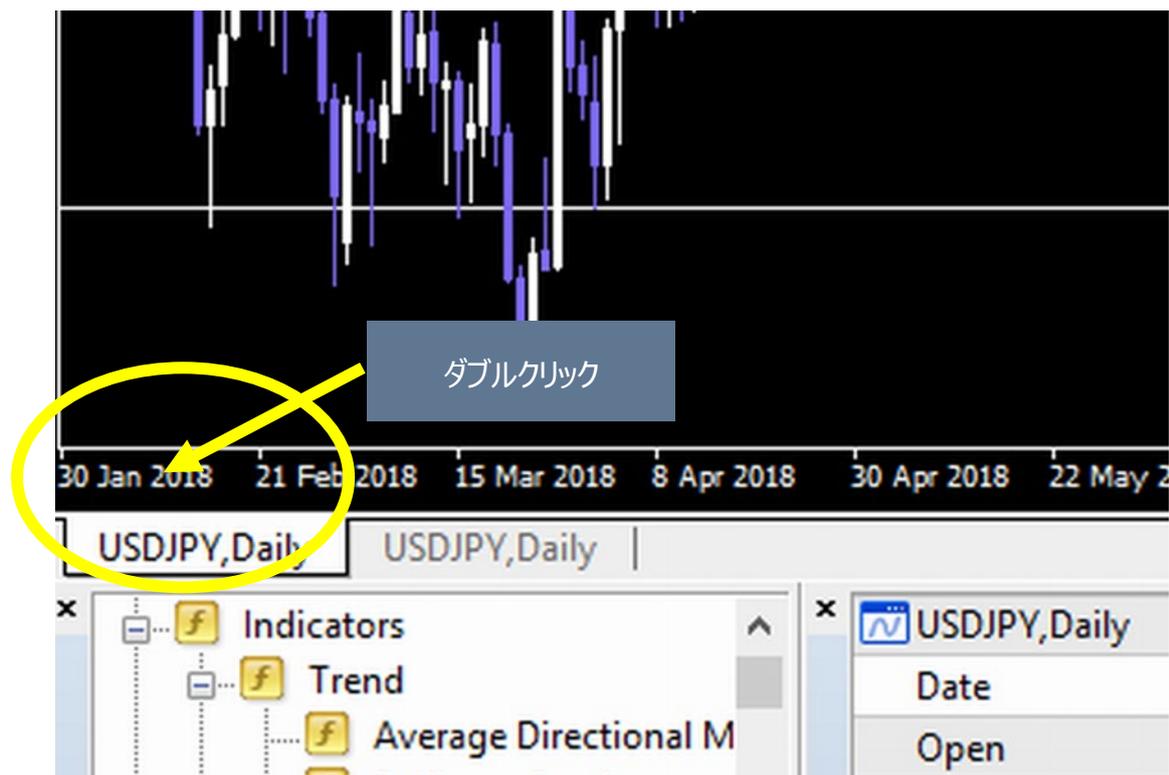
なお、メタトレーダー4 の使い方やインジケーター等に詳しい方や、私の他の資料で既に学んだことのある方は、この章を飛ばして「トレードロジック」から読み始めていただいても結構です。

MT4 の時短ワザ (1) タブの移動・操作

MT4 のチャートを開くと、画像のようなタブが左下に表示されます。

その日付の所をマウスでダブルクリックしてください。そうすると、入力できる白いスペースが現れます。

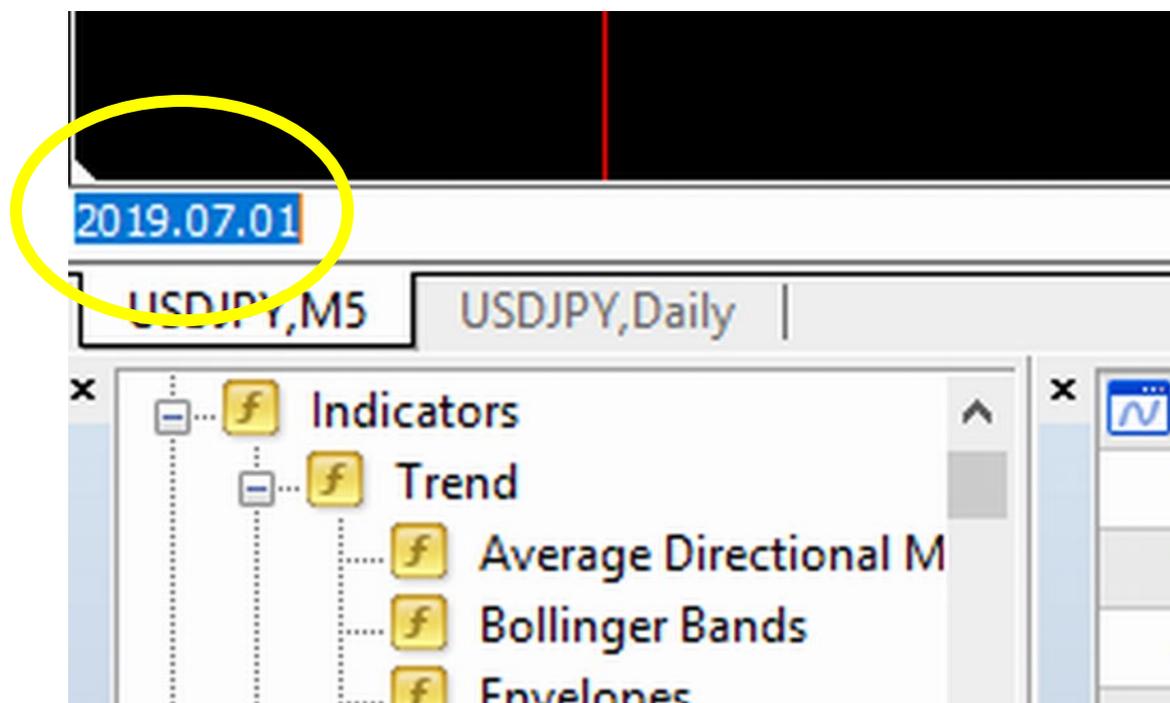
10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



そのスペースに日付を入力し、リターンキーを押します。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

形式は、「YYYY.MM.DD」です。（例：2019年7月1日なら「2019.07.01」）



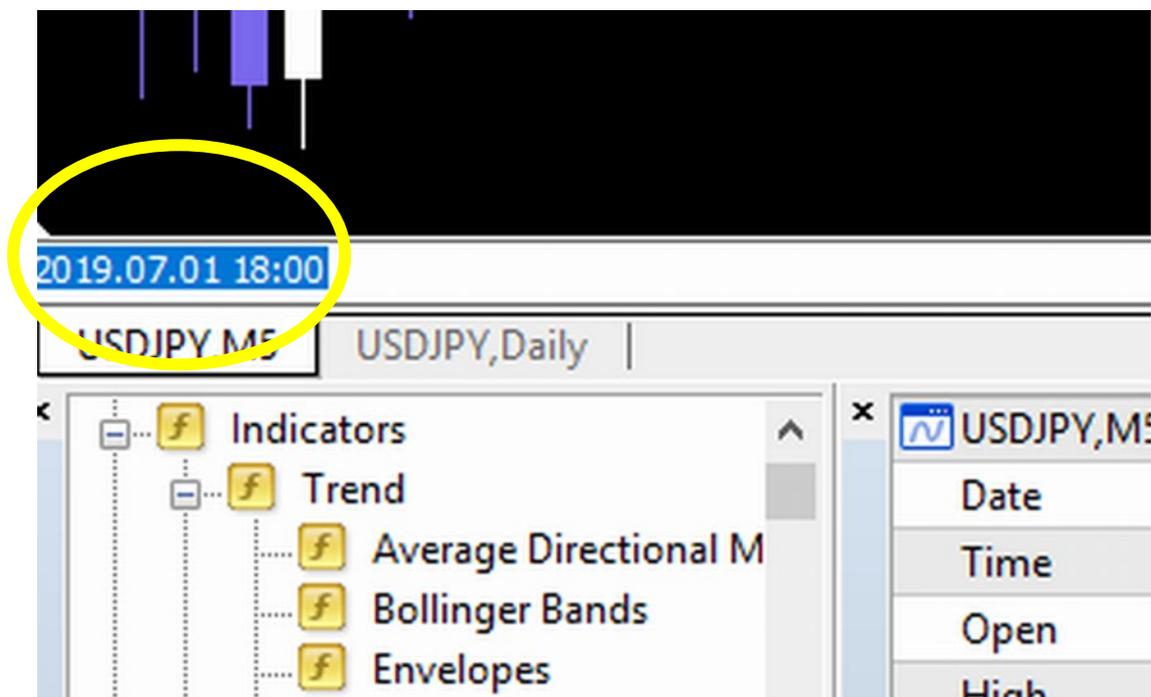
10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



チャートが「2019年7月1日」に移動しました（画像では、わかりやすく縦ラインを引いています）。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

日付と合わせて、時間を指定することもできます。例として、「2019.07.01 18:00」と入力してリターンキーを押してください。



10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

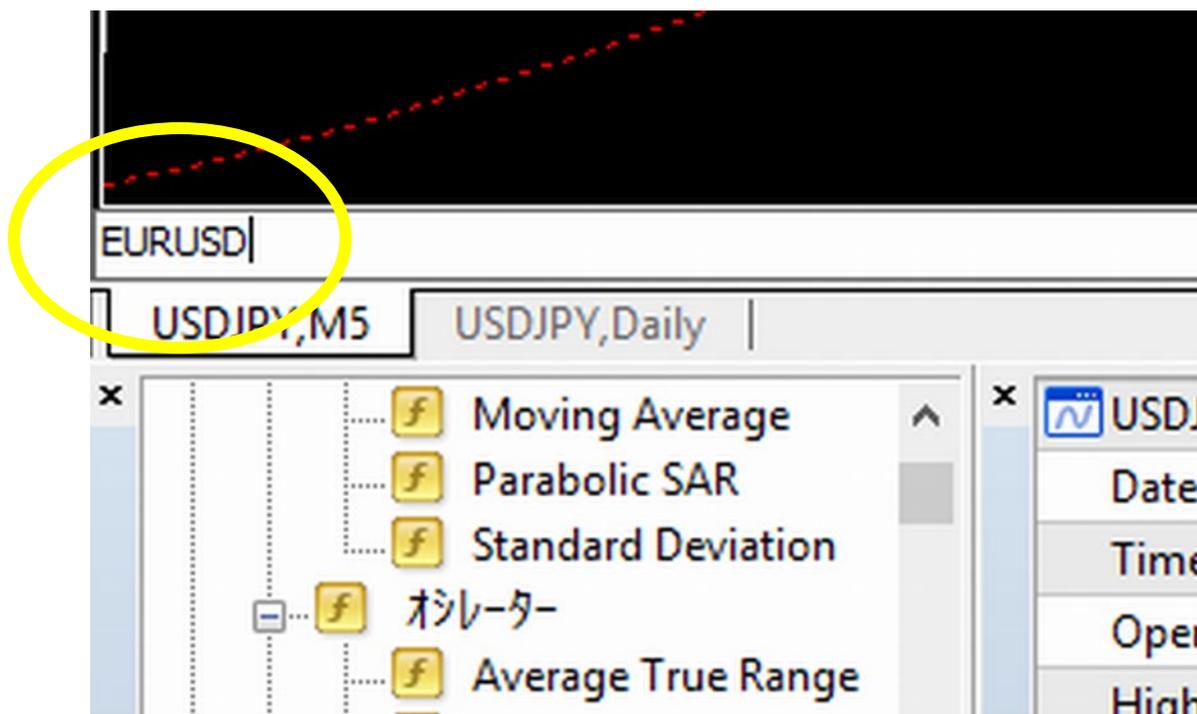


「2019年7月1日18時00分」に移動しました。

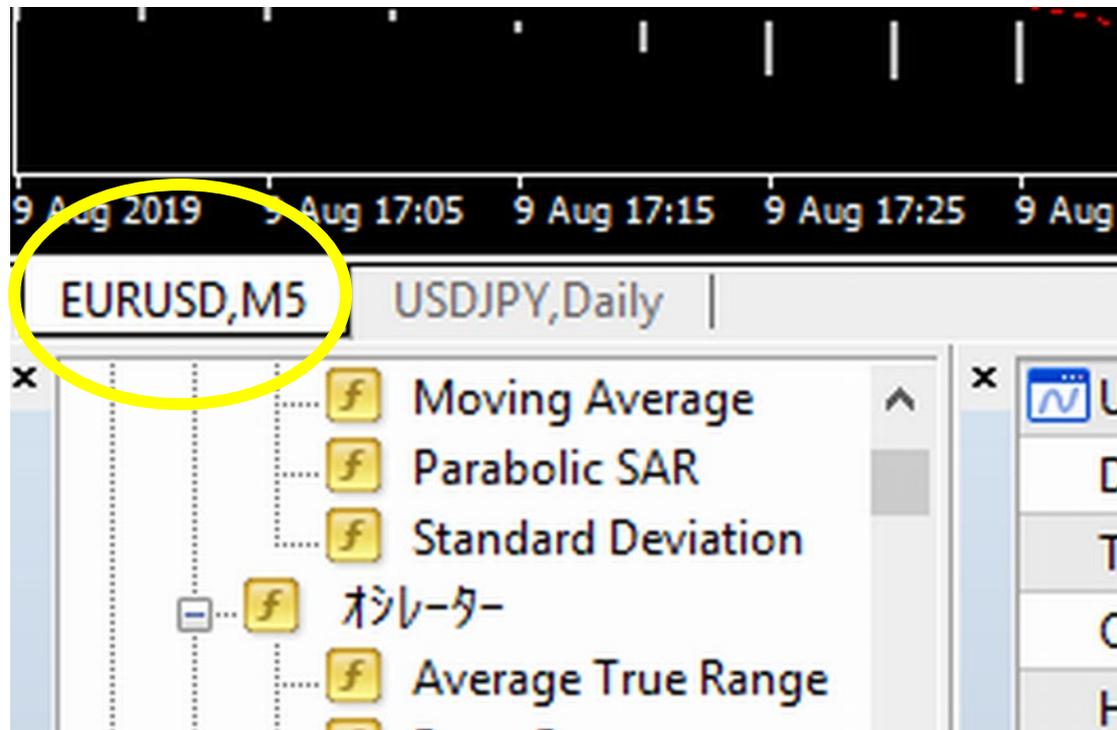
通貨ペアを指定することもできます。

「EURUSD」と入力してリターンキーを押してください。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



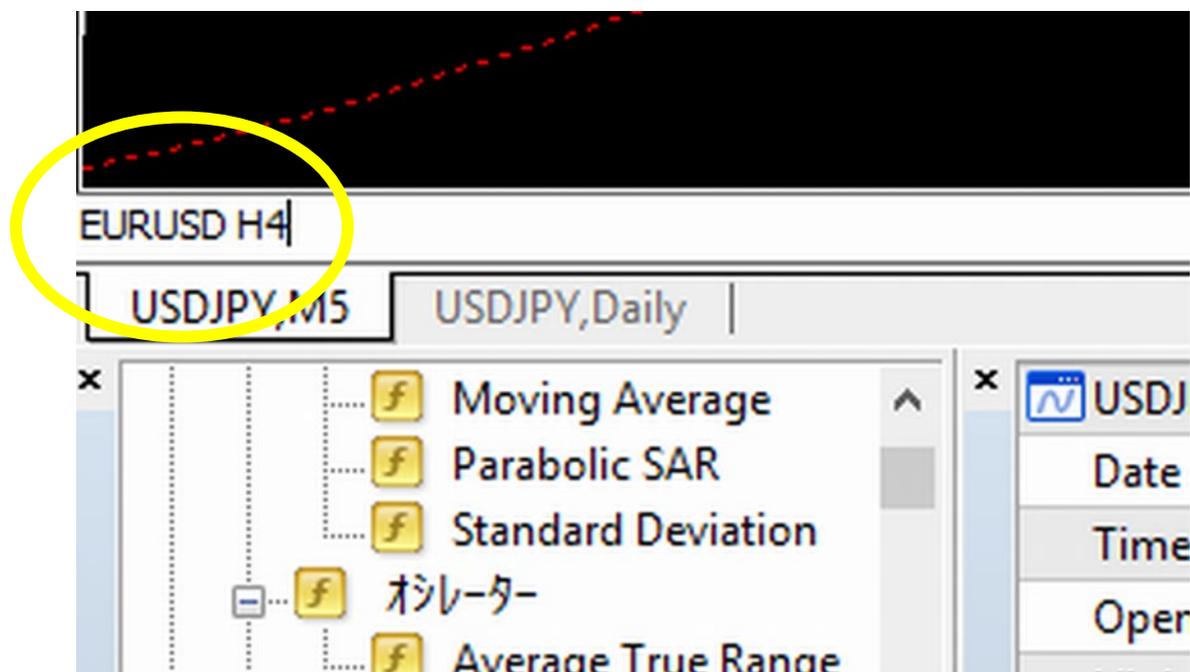
USD/JPY チャートが EUR/USD に変わりました。



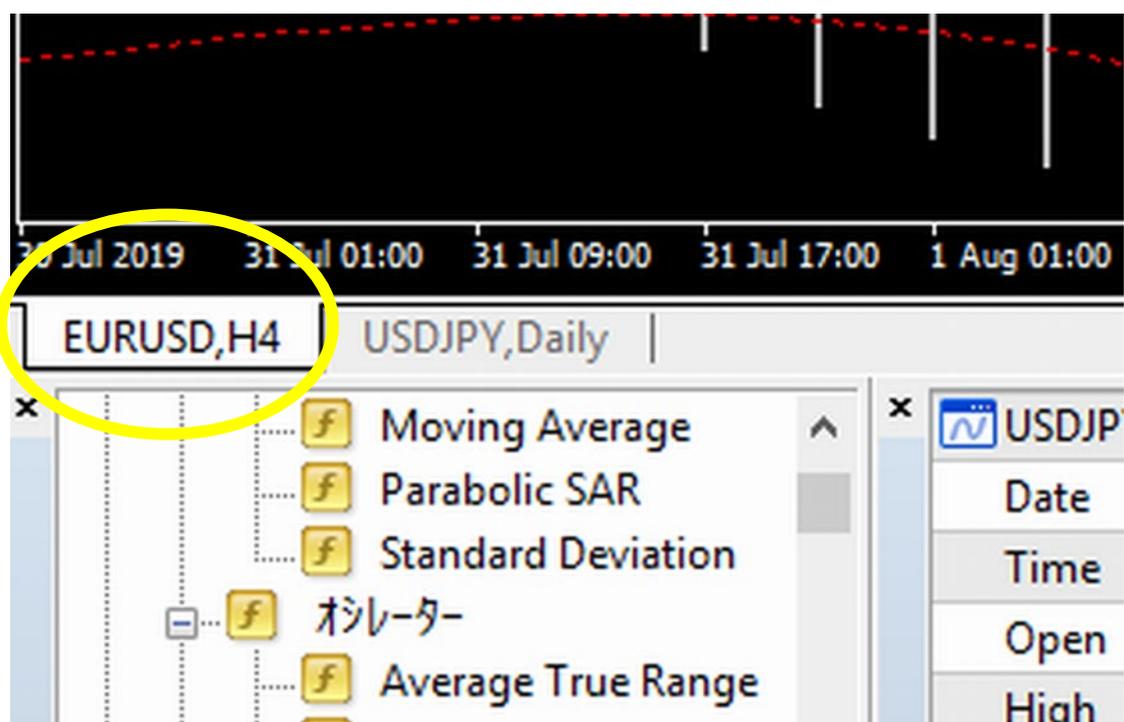
10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

時間足を指定することもできます。

EURUSD H4 と入力してリターンキーを押してください。



チャートが EUR/USD の 4 時間足に変わりました。



MT4の時短ワザ（2）ラインの情報をコピー

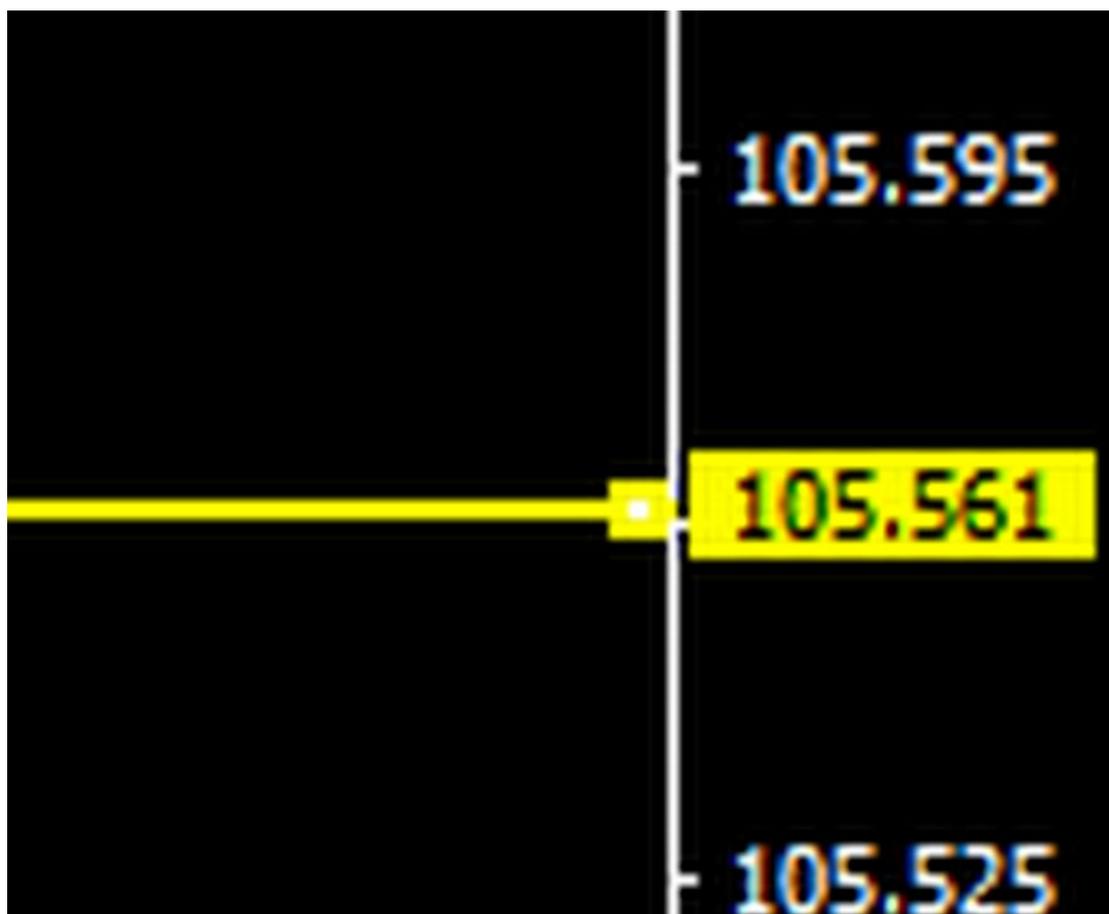
MT4のチャート上に引いたラインの情報を取得する方法をご紹介します。

MT4に引いたラインをダブルクリックし、ラインを選択した状態にします。



ラインの右端が四角くなっていれば、ラインを選択している状態になっています。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

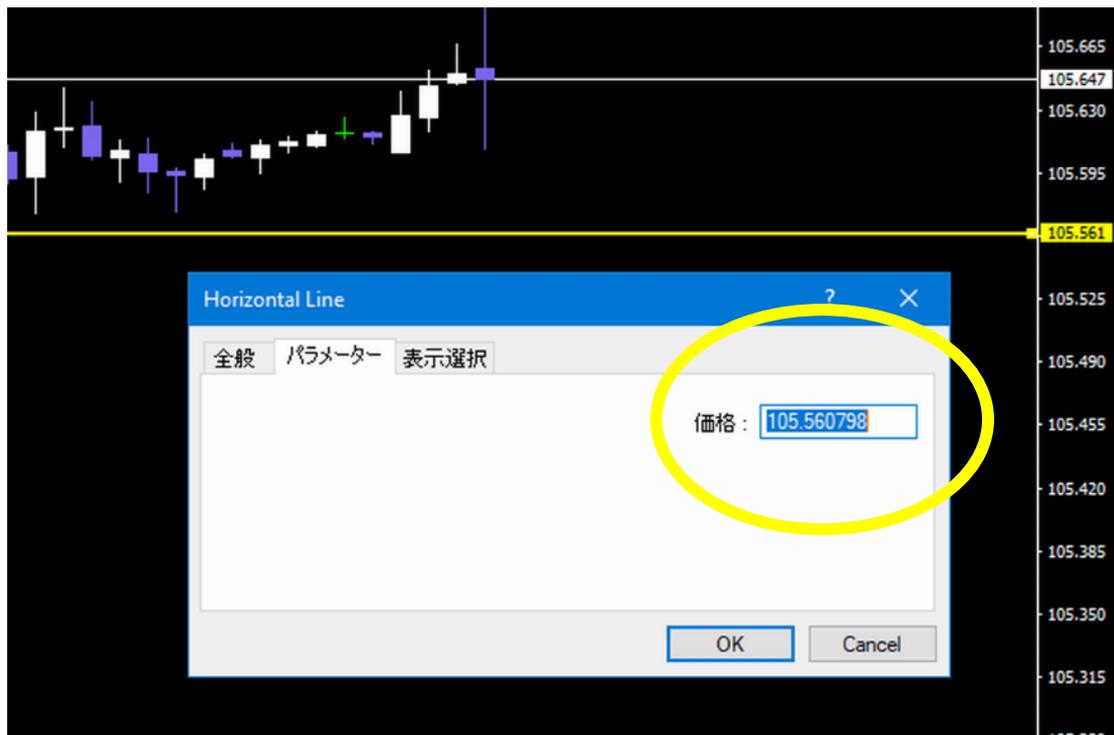
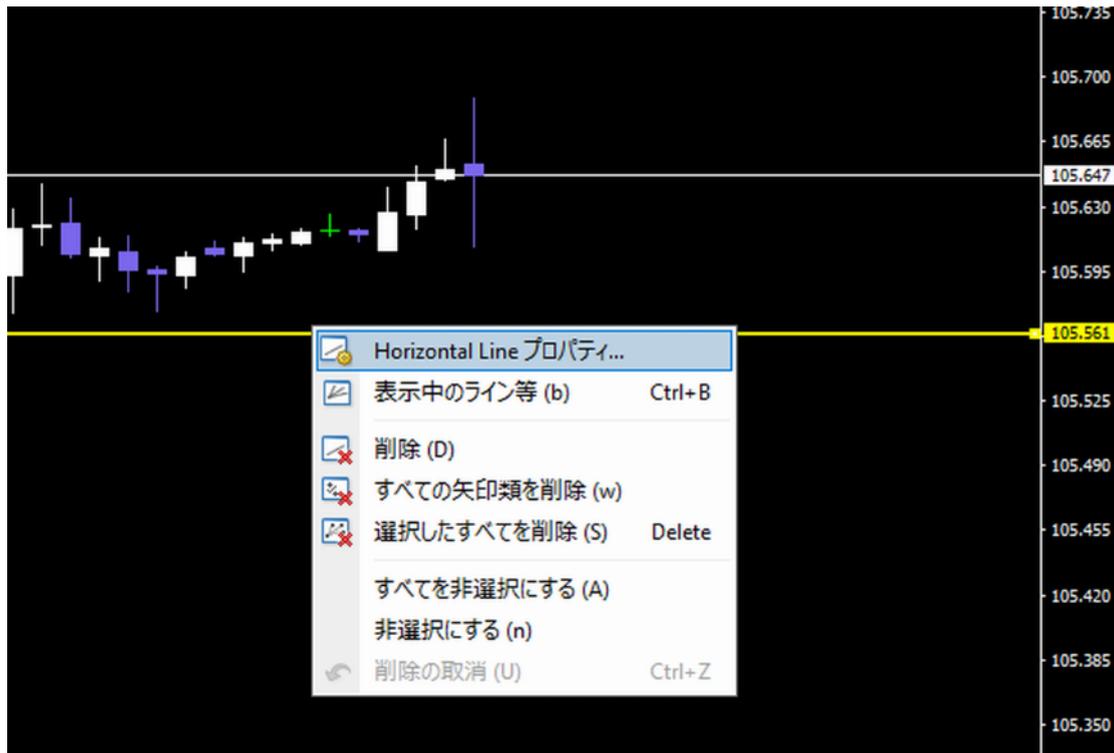


選択したラインの上でマウスを右クリックすると、小さいメニューが表示されます。そのメニューの中から、「Horizontal Line プロパティ」を選択し、「パラメーター」のタブから「価格」を選択します。

価格を選んだ状態でマウスの Ctrl キーと C を押し、パソコンのクリップボードにコピーします。

単純な機能ですが、FX のトレードを楽にするために必要なワザですので、覚えておいてください。

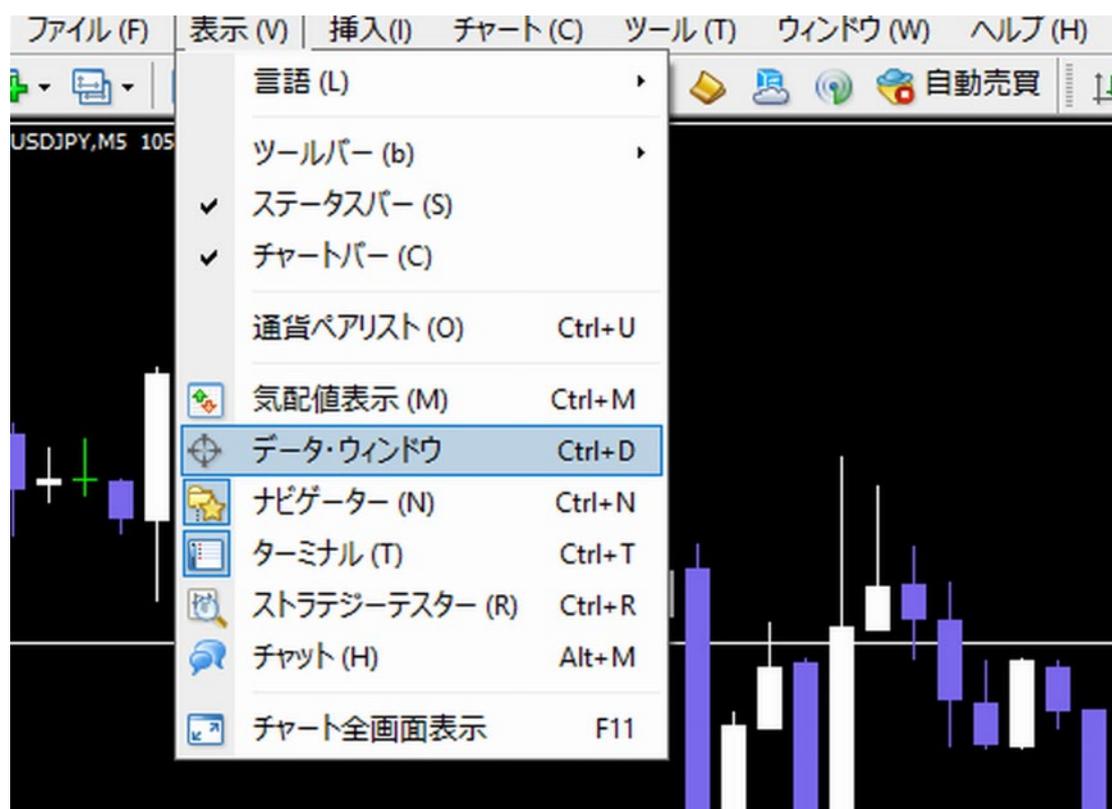
10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



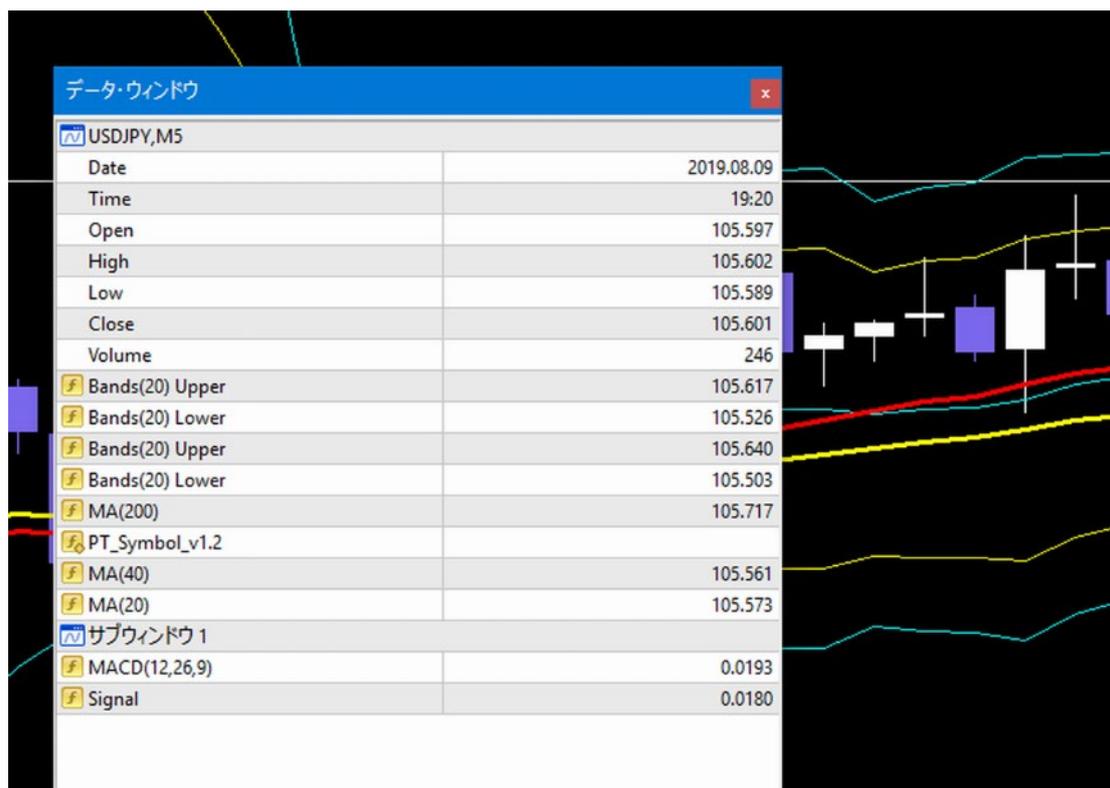
MT4の時短ワザ(3) ローソク足の情報をコピー

MT4のローソク足の情報を取得するワザです。

まずMT4のメニューの「表示」から「データ・ウィンドウ」を選択します。MT4でデータ・ウィンドウが表示されます。

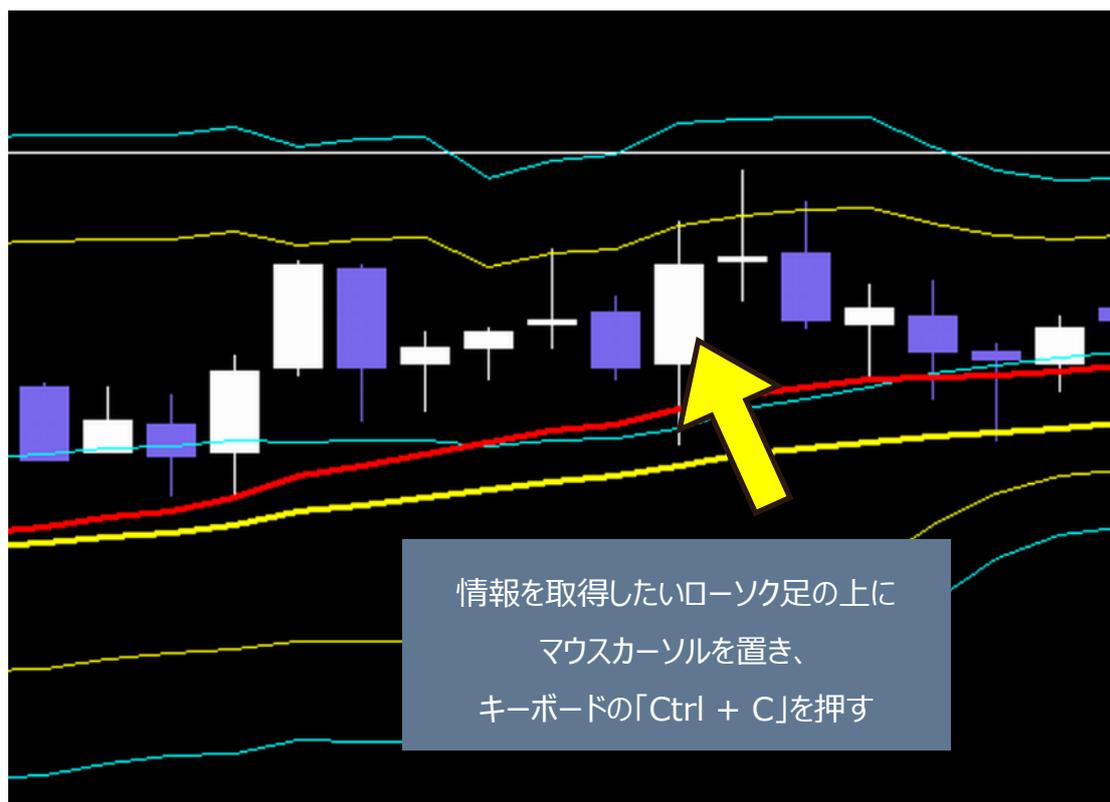


10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



データ・ウィンドウが表示された状態で、データを取得したいローソク足の上にマウスを移動します。そしてキーボードの Ctrl キーを押しながら C を押してください。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



そうすると、ローソク足の情報がパソコンのクリップボードにコピーされます。それをメモ帳などにペーストすれば、ローソク足の情報が取得できたことを確認できます。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

USDJPY,M5
Date 2019.08.09
Time 19:35
Open 105.593
High 105.629
Low 105.572
Close 105.618
Volume 333
Bands(20) Upper 105.628
Bands(20) Lower 105.524
Bands(20) Upper 105.654
Bands(20) Lower 105.498
MA(200) 105.714
PT_Symbol_v1.2
MA(40) 105.567
MA(20) 105.581
サブウィンドウ 1
MACD(12,26,9) 0.0193
Signal 0.0186

ローソク足の情報を取得するワザを有効にするには、次の2つの条件があります。

- メタトレーダー4 であること。現行のメタトレーダー5 では機能しません。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

- データ・ウィンドウが表示されていること。データ・ウィンドウが表示されていないと、このワザは機能しません。

ローソク足の情報のコピー&ペーストは、FXトレードの効率化に不可欠なワザです。私もトレードごとに使用しています。

ライントレードの基本

本資料では、「ライントレード」の手法を詳しく解説していきます。

「ライントレード」とは、チャート上にラインを引き、相場状況を判断してトレードする手法です。ライントレードの歴史ははっきりしませんが、勝ち組FXトレーダーの多くがライントレードを実践しています。わたしの周りでも、ライントレードで成功している人がとても多いのです。おそらく、相場というものが始まったのと同時に、ライントレードの歴史も始まったのでしょう。

ライントレードの特徴は、コツさえ分かれば誰でも簡単に相場の判断ができ、すぐに実践できることです。また、ライントレードはどの時間足でも威力を発揮します。5分足でも4時間足でも、どの時間足でも同じロジックでトレードできます。しかも、通貨ペアを選びません。私は通常20~28通貨ペアを対象に、ライントレードを実践しています。1日のトレード時間は、10分から30分程度です。どの通貨ペアでも同じ考え方で実践できます。たくさんの手法を使い分ける必要はありません。

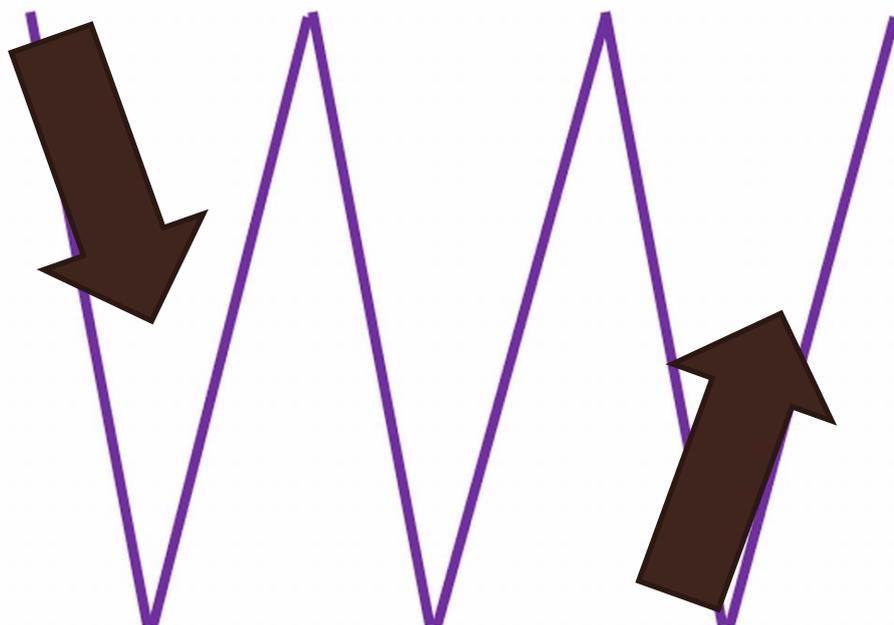
さらに、FXに限らず、株式、仮想通貨、暗号資産、ゴールドなどでもトレードできます。つまりライントレードはトレード手法の王道であり、かつ半永久的に使えるロジックなのです。

では実際に、チャート上にラインを引く手順についてご説明していきましょう。

まず相場には、2つの種類があることを知る必要があります。つまり、「レンジ相場」と「トレンド相場」です。

- レンジ相場とは、あるレンジ内で上下している相場と考えてください。
- トrend相場とは、レンジを越えて激しく動いている相場と考えてください。

レンジ相場



レンジ相場とは、あるレンジ内で上下している相場

トレンド相場



トレンド相場とは、レンジを越えて激しく動いている相場（下から上へ）

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



トレンド相場とは、レンジを越えて激しく動いている相場（上から下へ）

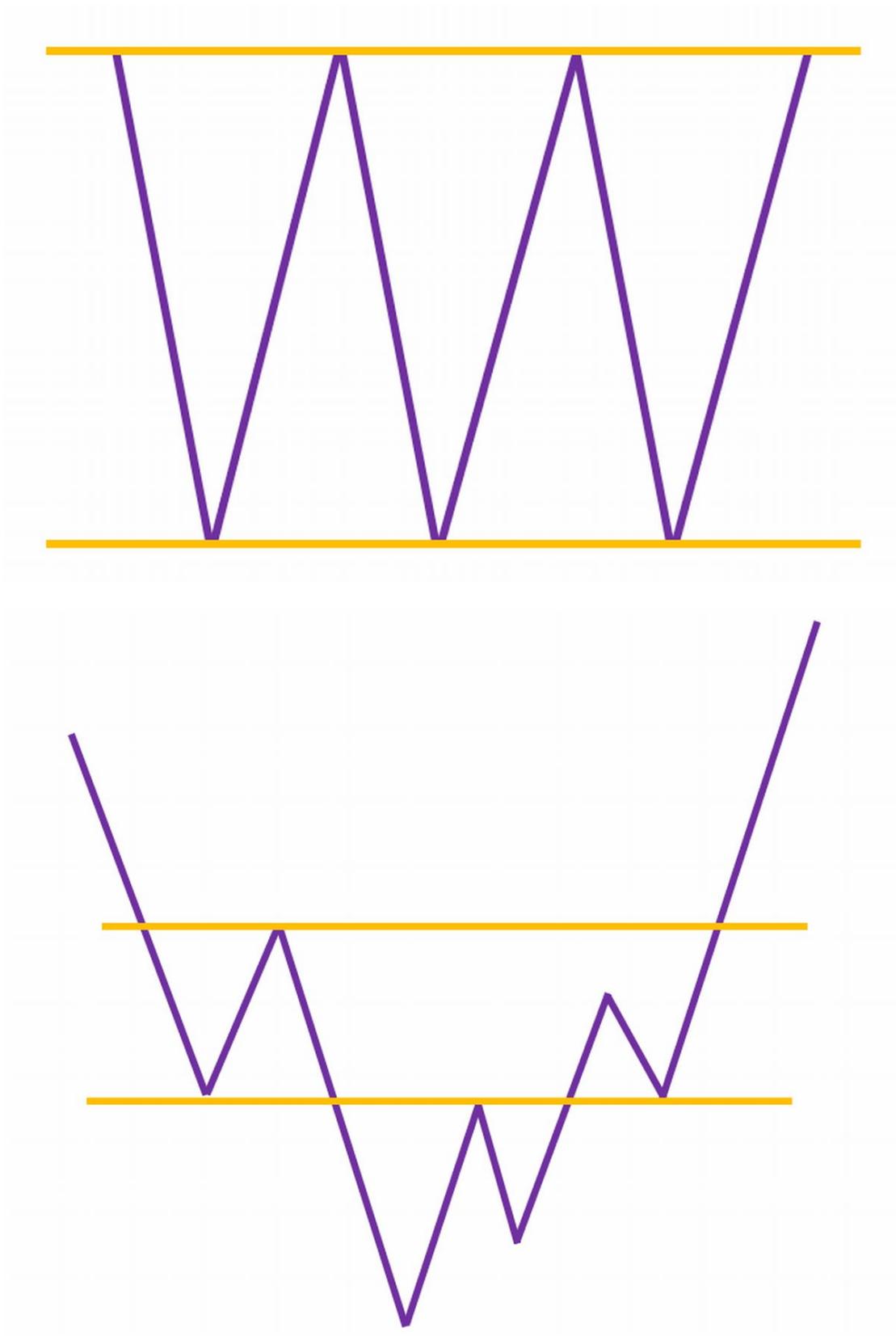
※相場の中で、レンジ相場は7割、トレンド相場は3割を占めると言われています。

それぞれの相場環境にラインを引いてみる

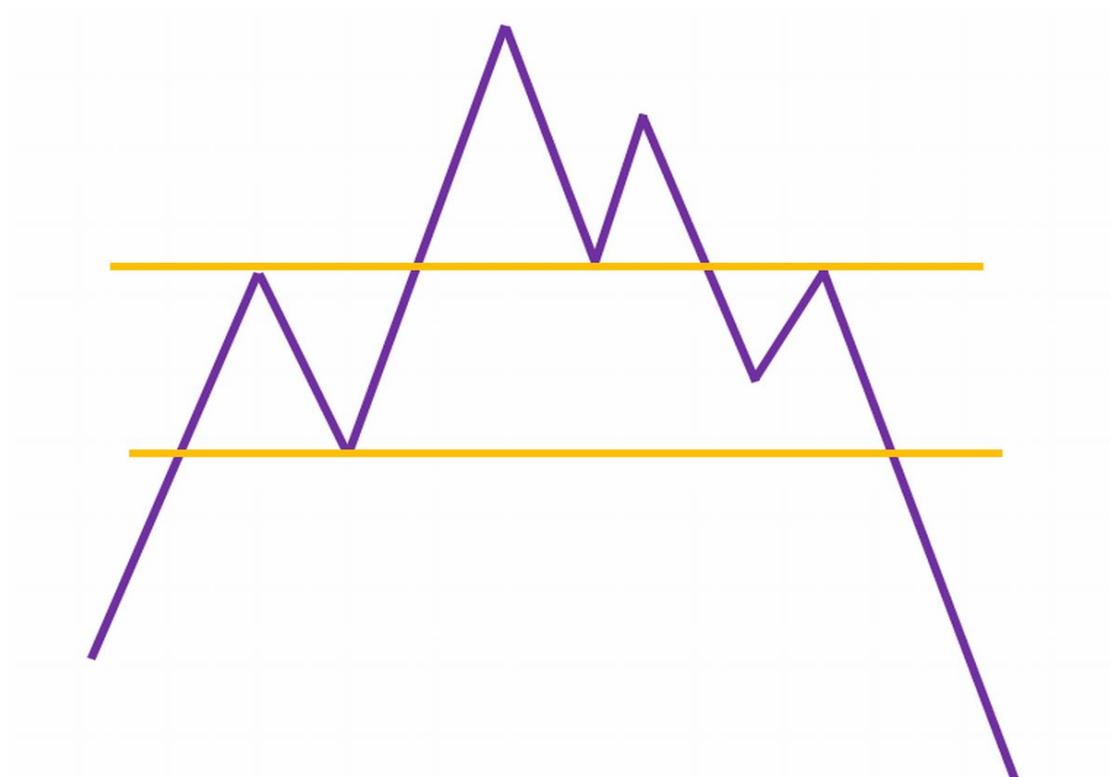
レンジ相場とトレンド相場についておわかりいただけだと思います。

次にどうやってラインを引くかです。具体的にラインを引いてみましょう。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



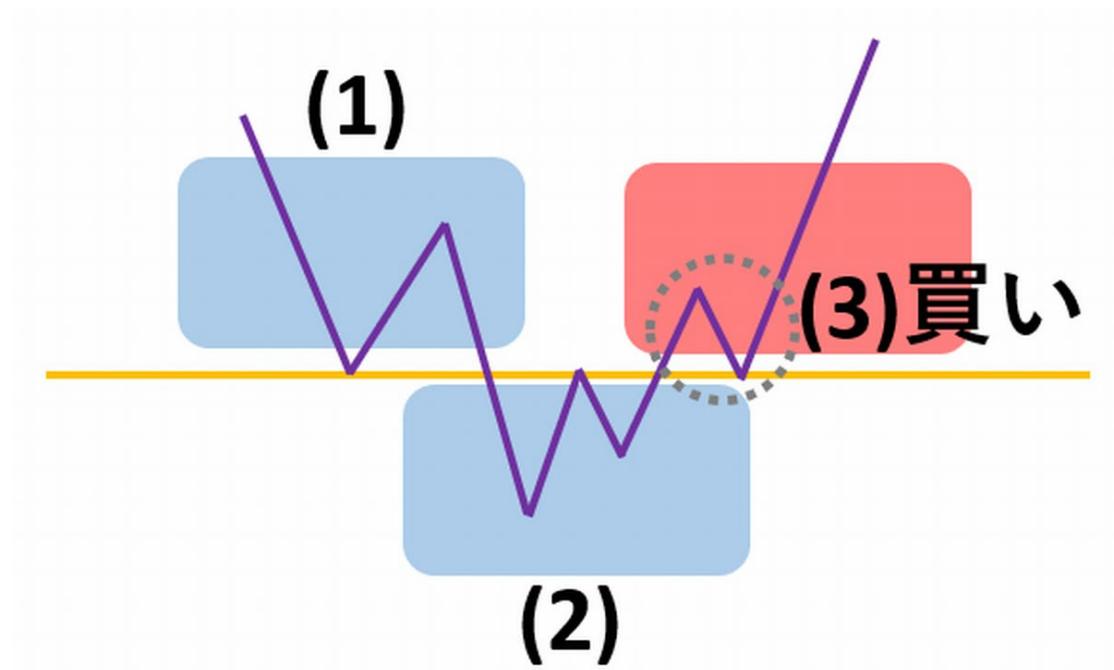
10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



誰でも簡単に引くことができますよね。

山と谷が明確になるところに線を引くだけです。

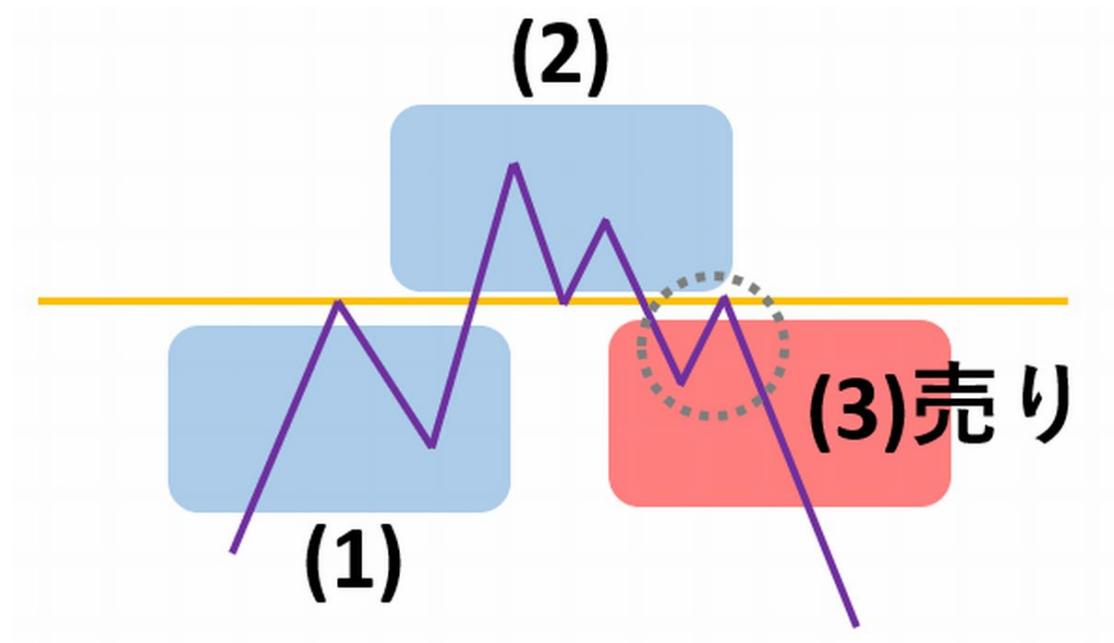
買いの場合



【買いの場合】(1)と(2)できれいにラインが引けたら、(3)で買いポジションを取ります。

無理にラインを引かないようにします。ラインがきれいに引けなかったり、違和感があるときは、トレードを見送ります。

売りの場合



【売りの場合】(1)と(2)できれいにラインが引けたら、(3)で売りポジションを取ります。

無理にラインを引かないようにします。ラインがきれいに引けなかったり、違和感があるときは、トレードを見送ります。

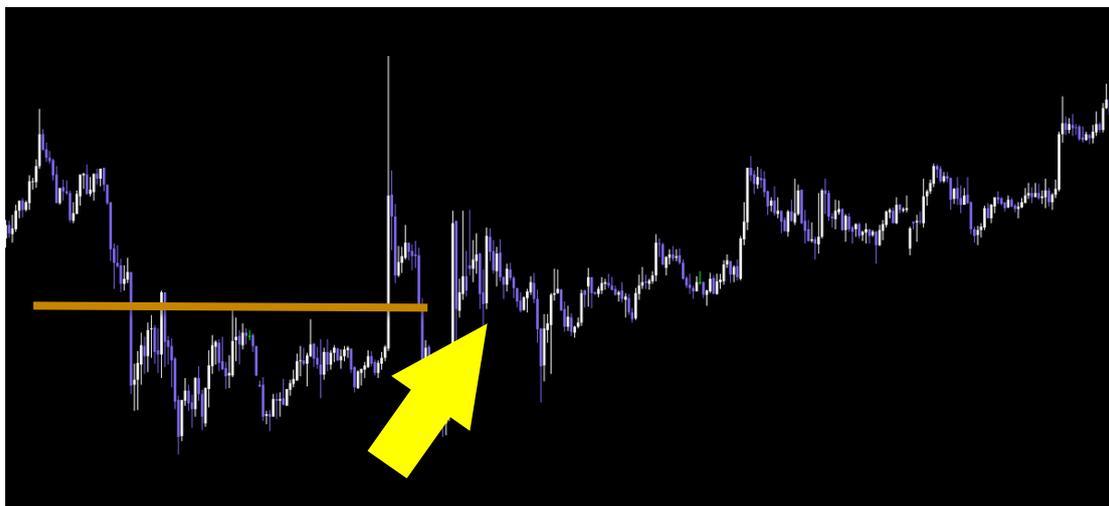
【重要】

いくつかの通貨ペアをチェックすると、きれいなラインが引けるチャートを見つけることができます。その通貨ペアだけでトレードするようにします。

実際のチャートにトレンド相場のラインを引いてみる

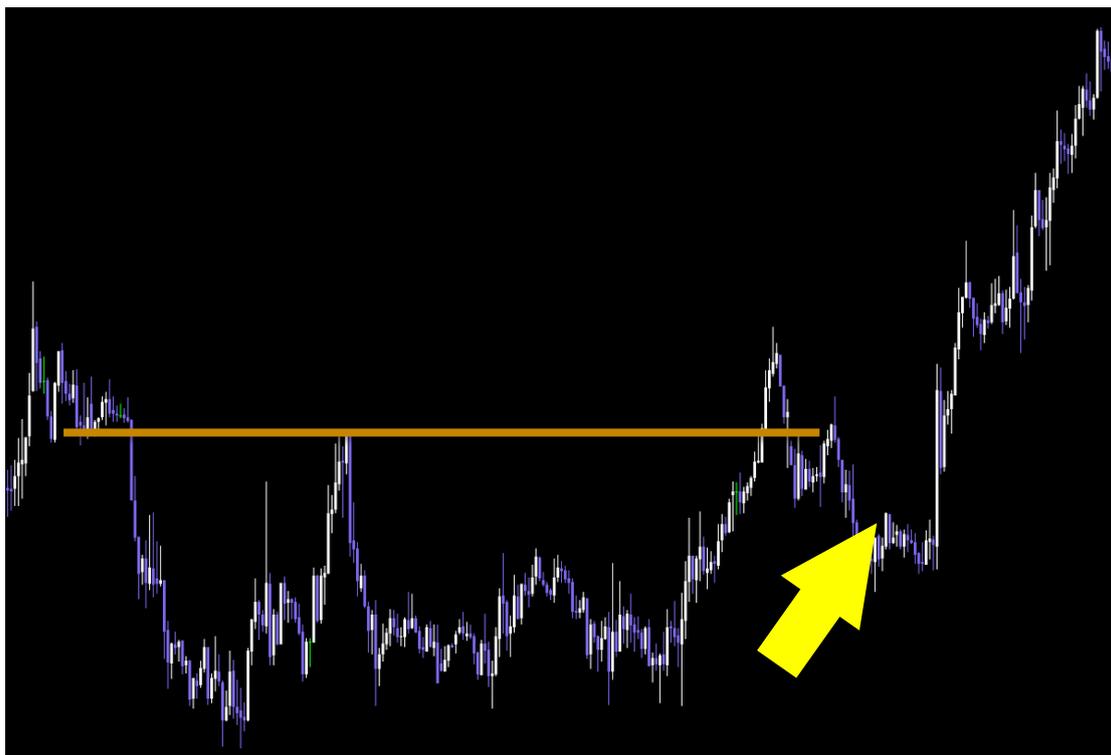
私のトレード手法では、レンジ相場ではポジションを取りません。ですので、ここでは「トレンド相場」のみについて解説していきます。

では、「トレンド相場」について、実際のチャートにラインを引いて確認してみましょう。



下から上へ (1)

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

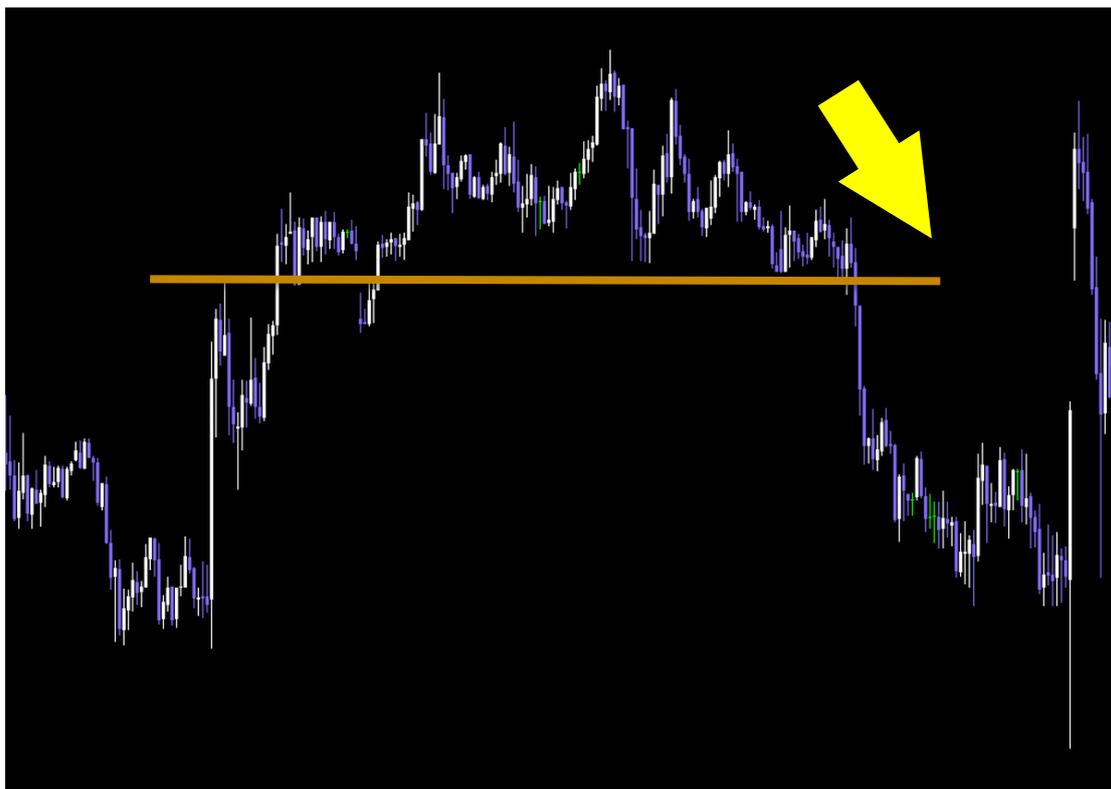


下から上へ (2)



10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

下から上へ (3)

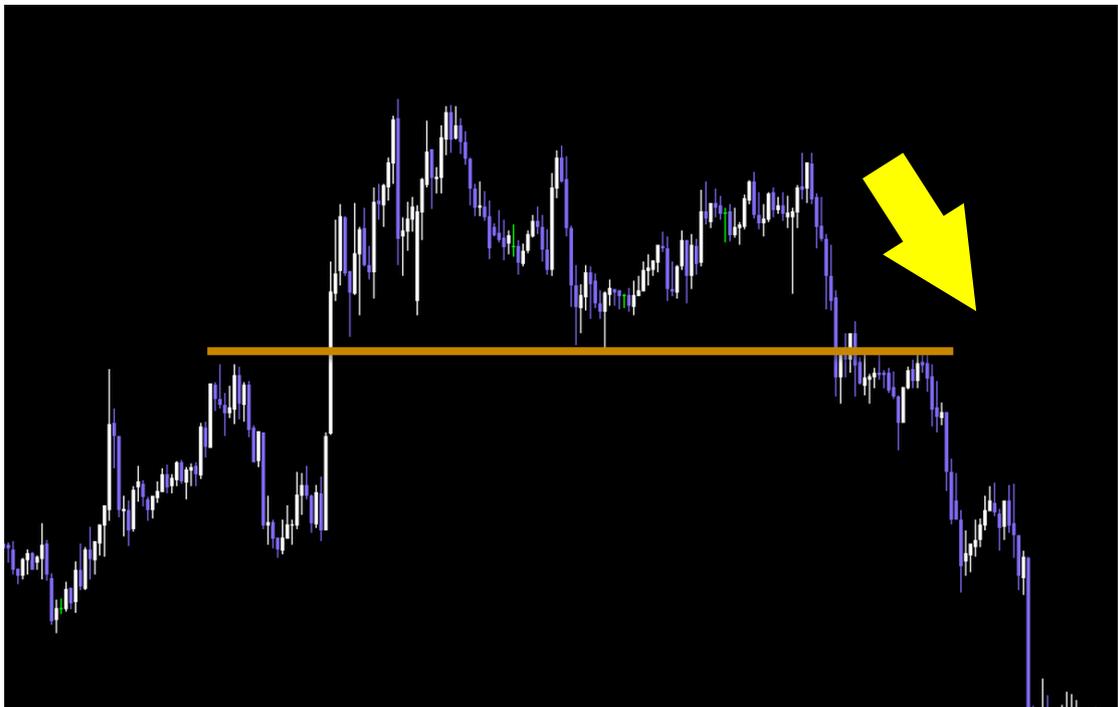


上から下へ (1)

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



上から下へ (2)



上から下へ (3)

FXトレーダーごとにラインの引き方が違う

山と谷が明確になるところに線を引くだけですから、簡単ですね。

チャートにラインを引く、大体のイメージがつかめましたか？「私だったらもっと違う場所にラインを引く」、「画像の中で他にもラインを引けるところがある」、と思ったら、合格です（笑）実は、ラインを引くポイントは、「トレーダーによって少し異なる」からです。

ずいぶん前ですが、友だちの勝ち組トレーダー（ライントレーダー）が集まって話をしたときに、ラインの引き方について議論になったことがあります。予想はしていたことですが、やはりそれぞれのトレーダーで微妙にラインを引く場所が異なっていました。とはいえ、大きく違うと言うことはなく、大体は同じでした。違いと言えば、ヒゲを含めるのか、ローソク足の実体で引くのか、などです。

ですから、あなたがこの画像を見て「自分と違う！」と考えても、何の問題もありません。また、画像の中ではわかりやすいように1本のラインしか引いていませんから、「他にもラインを引ける場所がある！」と考えるのも正解なのです。

これが基本！ライトレードのポジションと損切り・利確ポイント

さて、ラインが引けたら、次はポジションを取るタイミングです。これはとてもシンプルで、「基準となるラインを越えたら、トレンド方向にポジションを取る」だけです。

- 相場が下から上に上がってきたら、ラインを越えたことを確認して「買い」ポジションを取ります。
- 相場が上から下に下がってきたら、ラインを越えたことを確認して「売り」ポジションを取ります。

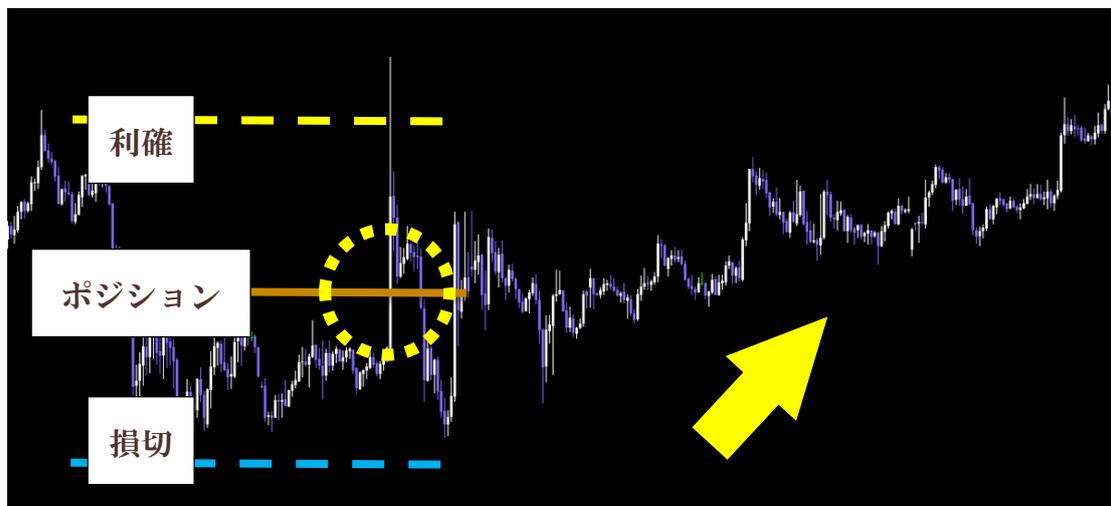
そして、損切りポイントと利確ポイントを決めます。

私の手法での損切りポイントは、直近の高値・安値の少し外側です。

そして利確ポイントは、損切りポイントまでと同じ幅です。

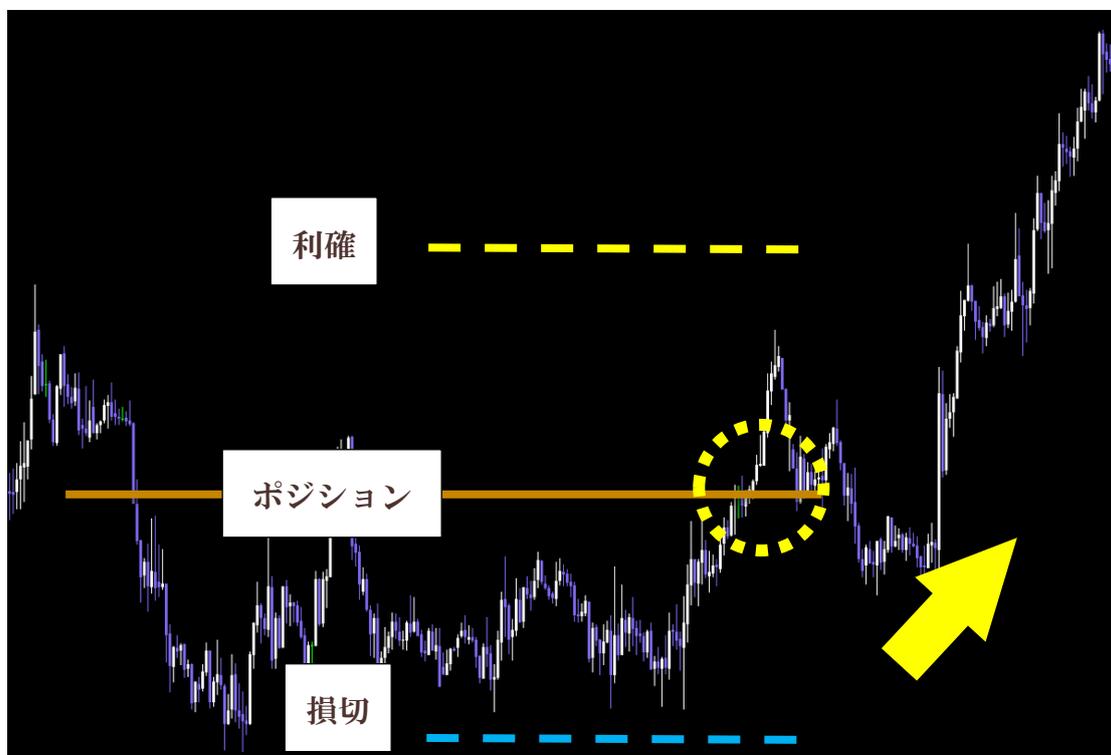
具体的にご説明しましょう。

基本：「買い」ポジションの実例(1)



下から上へ (1)

基本：「買い」ポジションの実例(2)



下から上へ (2)

基本：「買い」ポジションの実例(3)



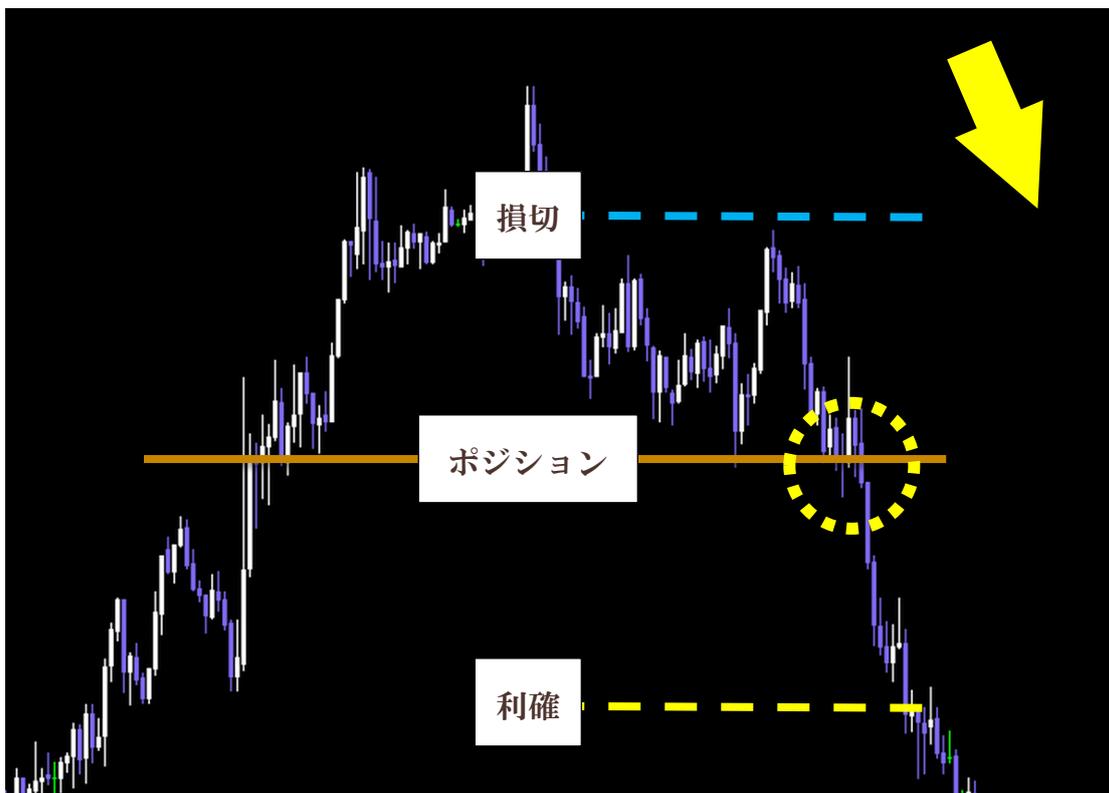
下から上へ (3)

基本：「売り」ポジションの実例(1)



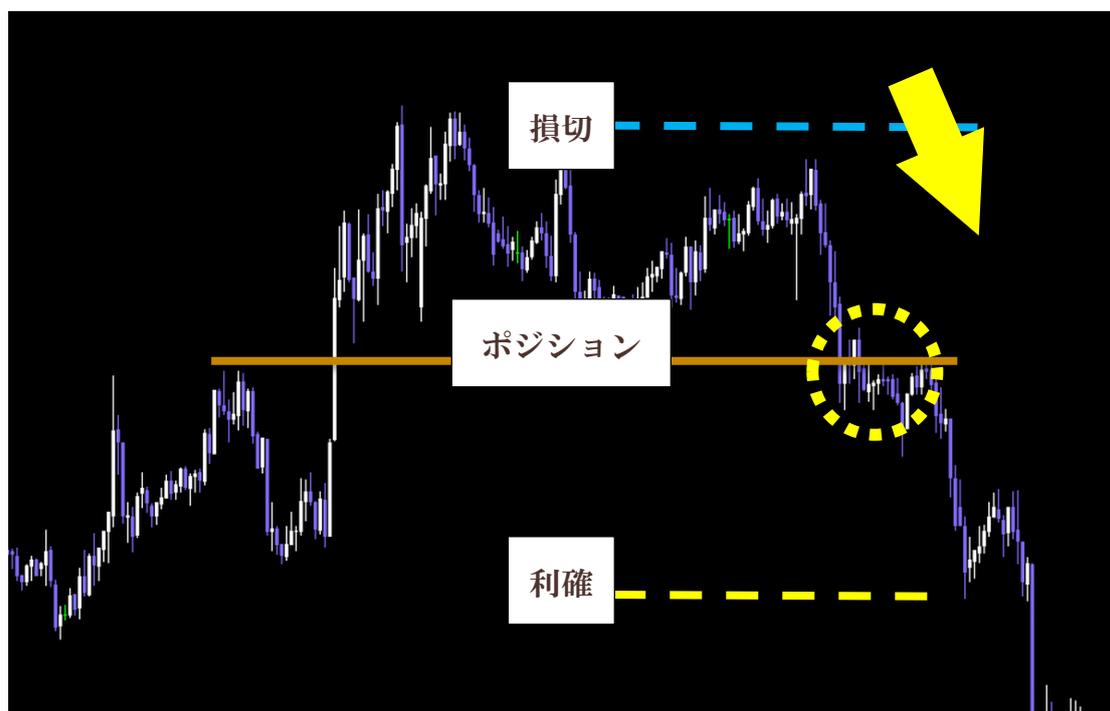
上から下へ (1)

基本：「売り」ポジションの実例(2)



上から下へ (2)

基本：「売り」ポジションの実例(3)



上から下へ (3)

基本ロジックのまとめ

ここまでのロジックをまとめてみます。

- 【買いポジション】：相場が下から上。重要ラインを越える。損切りは直近安値の少し下。利確は損切りまでと同じ幅（リスクリワード 1 : 1)
- 【売りポジション】：相場が上から下。重要ラインを越える。損切りは直近高値の少し上。利確は損切りまでと同じ幅（リスクリワード 1 : 1)

トレードを見送るポイント

さて、ここまでがライントレードの基本です。手法はシンプルですので、2, 3時間練習すれば、すぐにできるようになると思います。

先述したとおり、ラインの引き方は人によって若干異なります。そこにあまりこだわらず、どんどんラインを引いてみてください。よく分からなかったチャートを、はっきり捉えることができるようになります。

ここであなたにひとつの疑問が頭に浮かぶと思います。それは、「相場がごちゃごちゃしていて、はっきりとしたラインが引けない場合はどうするのか？」ということです。

そのようなラインをしっかりと引けない相場では、トレードをしません。

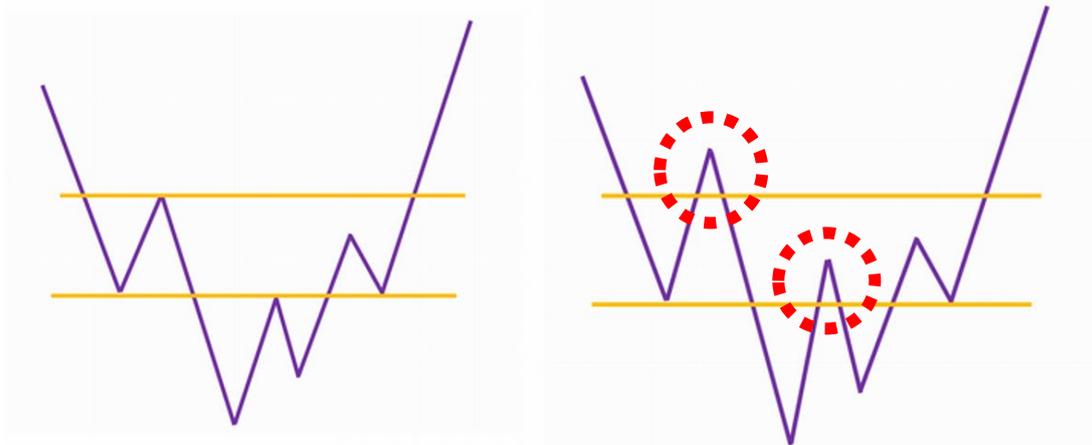
無理にラインを引いてトレードをしても、あまりいい結果にはなりません。

私は、「誰でもすぐにラインを引ける相場」でしかトレードをしないようにしています。ですから、常に20通貨ペア以上を監視していますが、トレードチャンスは比較的少ないと思います。要するに「自分の分かるチャートしかトレードしない」と言うことです。

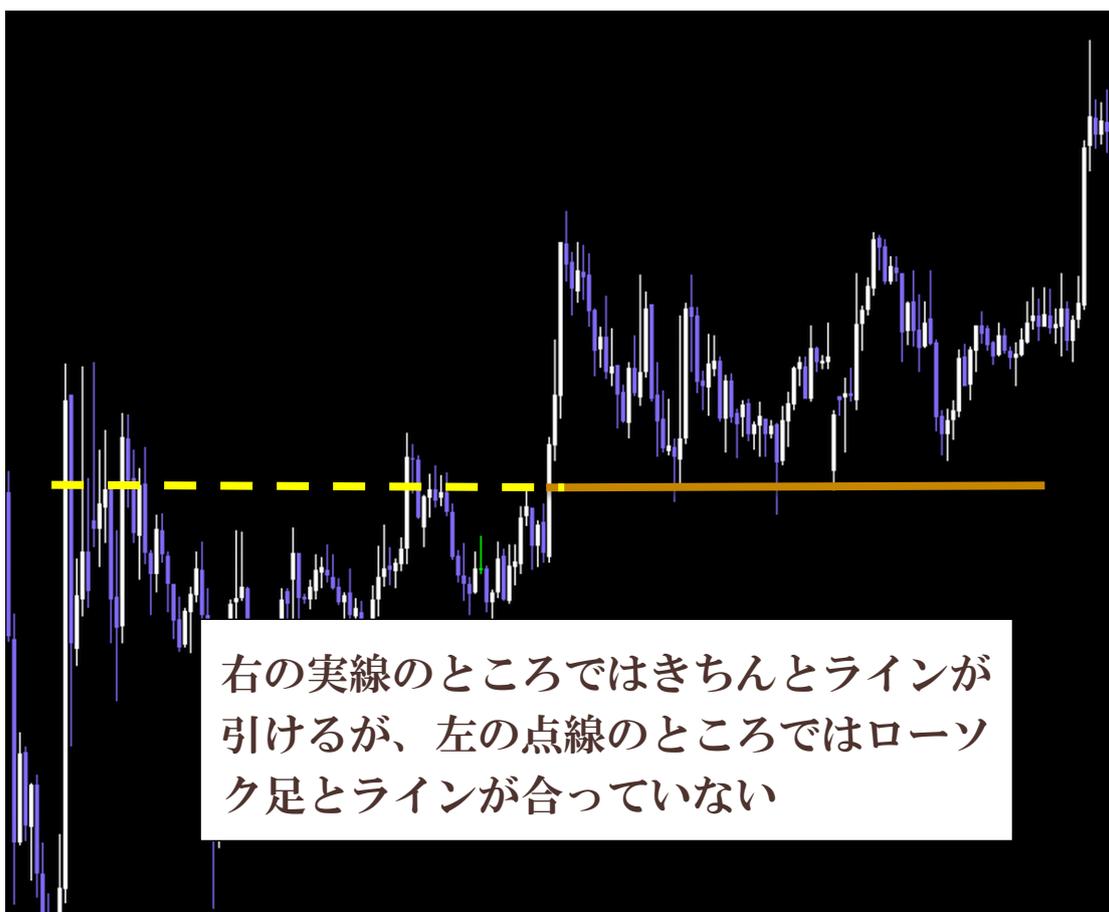
10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

○トレードする

×トレードしない



例えば、私は次のような相場では、ポジション取りません。



「分からないところではトレードしない」

これが、FXで成功する最大の秘訣です。これがとても重要です。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

分からなければ、ポジションを取らなければいいのです。うまくラインが引けなかったり、引いたラインに違和感があったら、トレードをしてはいけません。

FXの初心者は、とにかくポジションを取ろうとします。これが失敗の原因になっていることに気がつくことすらできません。そしてお金と時間を失って、FXから退散していくのです。

なお繰り返しですが、ラインの引き方は、勝ち組トレーダーでも若干異なります。また相場は常に動いていますので、少しラインをはみ出してしまうこともあります。きちりラインが引けなくても、ポジションを取ることがあります。このあたりがいわゆる「裁量」という部分です。

さらに儲けるためのテクニック

移動平均線とMACDを使って勝率を上げる方法

さてここまでのライントレード手法を修得すれば、FXで勝てるようになるはずで
す。ここからは、さらに儲けるためのテクニックをご紹介します。

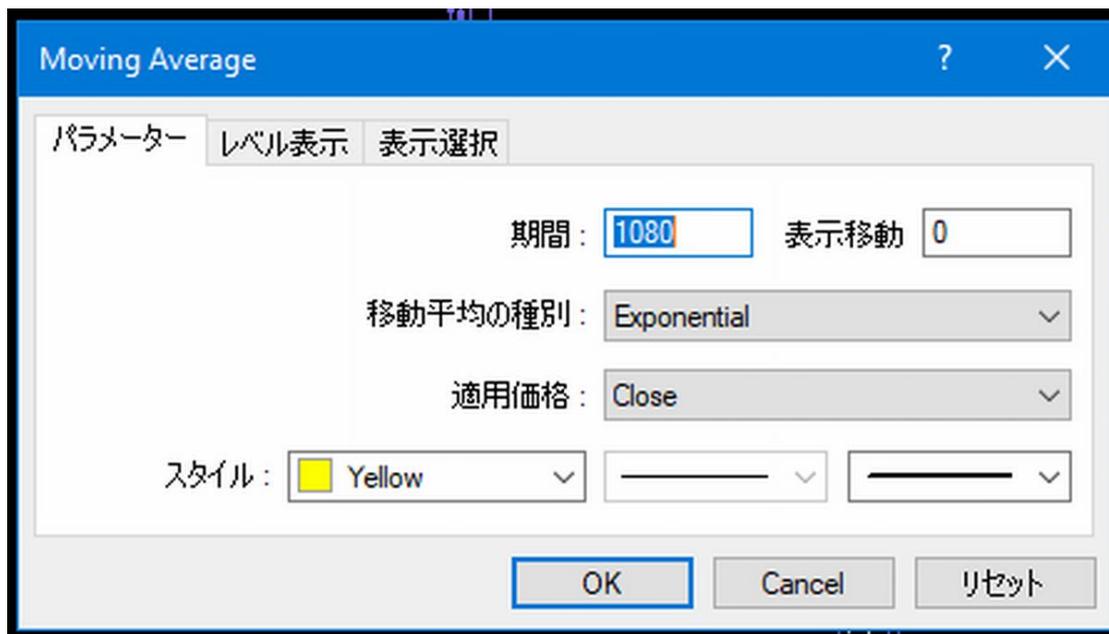
ライントレードに、移動平均線とMACDを組み合わせることで、勝率を上げ
ることができます。実際私は、この章で紹介する手法でトレードをしています。

先ほど紹介したロジックに、この2つの指標を追加してみましょう。

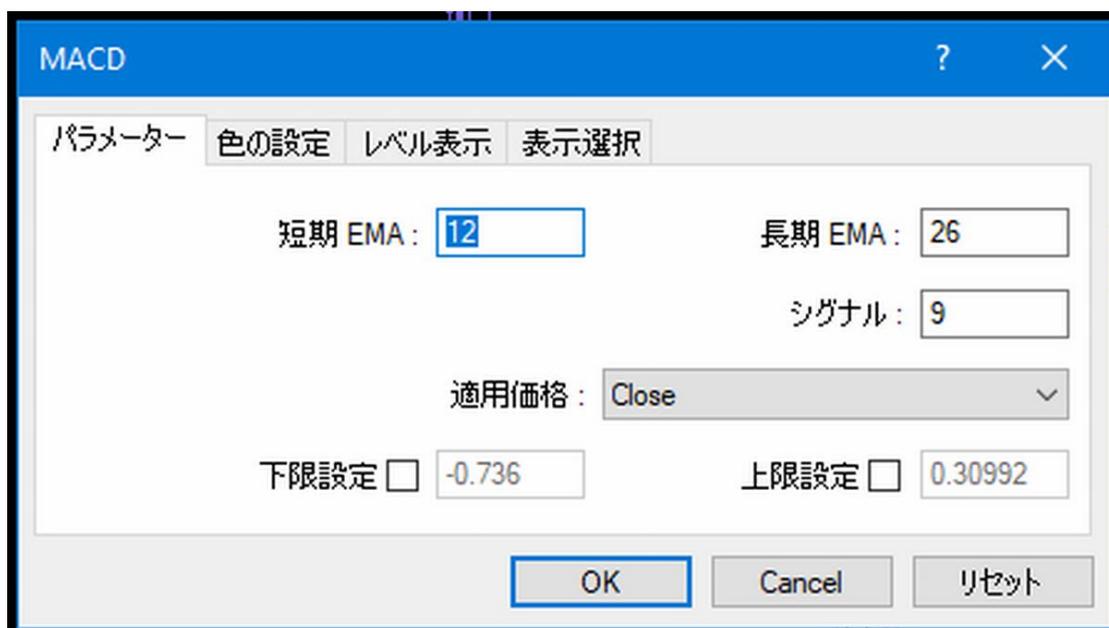
- 【買いポジション】：相場が下から上。重要ラインを越える。ローソク足
が移動平均線（EMA 期間 1080）の上にある。MACD（12,
26, 9）がゼロラインを上方向に越えた。損切りは直近安値の少し
下。利確は損切りまでと同じ幅（リスクリワード 1 : 1）
- 【売りポジション】：相場が上から下。重要ラインを越える。ローソク足
が移動平均線（EMA 期間 1080）の下にある。MACD（12,
26, 9）がゼロラインを下方向に越えた。損切りは直近高値の少し
上。利確は損切りまでと同じ幅（リスクリワード 1 : 1）

具体的にご説明しましょう。まずは移動平均線とMACDをチャート上に表
示させてください。移動平均線の設定はEMA 期間「1080」です。MACD
の設定は、標準の「12, 26, 9」です。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



↑ 移動平均線の設定



↑ MACD の設定

設定すると、チャートは次のようになります。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



では、このチャートにラインを引いてみます。



画像を拡大し、MACD の位置と合わせてみましょう。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ



10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

おわかりいただけますか？

このチャートでは、次の3つの条件がそろっています。

- ローソク足が移動平均線の下にある
- 重要ラインを上から下に突き抜けた
- MACDがゼロラインを上から下に突き抜けた

この3つの条件がそろったときにだけポジションを取る（この場合は「売り」ということです。

ちなみにここで、先ほど紹介した「ローソク足の上で Ctrl + C」で情報を取得すると、次のようになります。

```
USDJPY,H4
Date 20XX.XX.XX
Time 01:00
Open 107.117
High 107.156
Low 106.844
Close 107.060
Volume 27977
MA(1080) 109.811
サブウィンドウ 1
MACD(12,26,9) -0.2425
Signal 0.0223
```

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

このローソク足データを利用すれば、現在の価格が移動平均線の下にあること、MACD がゼロより下のマイナスの数値になっていることが分かります。

移動平均線とローソク足が絡まっていたり、MACD がゼロラインの上か下か目視では難しいときに、正確な判断ができるようになります。

例えば次のチャートでは、ローソク足がラインを下から上に越え、MACD もゼロラインを下から上に越えています。ですから「買い」になるのですが、ローソク足が移動平均線の下にあり、「売り」相場と判断できるので、ポジションは取らない、ということです。



3つの条件をチャート上で確認

では、実際にポジションを取るタイミングを、いくつか例で確認してみましょう。

(スペースの関係で一部の画像で移動平均線が見えなくなっています。ご了承下さい)

実線：「買い」ポジション実例（1）



※移動平均線はローソク足の下にあります。

実線：「買い」ポジション実例（2）



※移動平均線はローソク足の下にあります。

実線：「買い」ポジション実例（3）



※移動平均線はローソク足の下にあります。

実線：「売り」ポジション実例（1）



実線：「売り」ポジション実例（2）



実線：「売り」ポジション実例（3）



トレード回数を増やしたい場合

なお、ライン、移動平均線、MACDの3つのフィルターを付けると、勝率は上がるものの、トレードチャンスは減ります。もっと頻繁にトレードをしたい方は、移動平均線かMACDのどちらか（または両方）を外してもいいです。

トレード回数が少ないけれど勝率が高いケースと、トレード回数が多いけど勝率が低いケースでは、後者の方が手元に残るお金が多くなります。

下図は、1日1回のトレードで勝率60%、リスクリワード1:1で、1回のトレードの許容リスクを5%とした場合（左）と、1日3回のトレードで勝率55%、リスクリワード1:1で、1回のトレードの許容リスクを5%とした場合（右）の比較です。

この条件では、5年後に左が約1710万円に対し、右が約1億130万円と大きな差になっています。あくまでも極端な例ですが、仮に勝率が低くてもトレード回数を増やせば大きな利益を残せる可能性があることを示しています。

ただし、どちらも勝率が50%を超えていることが条件です。

| 複利 | 1日1回勝率60% RR1:1 5% | 1日3回勝率55% RR1:1 5% |
|-----|--------------------|--------------------|
| 1年後 | ¥702,522 | ¥1,589,046 |
| 3年後 | ¥34,672,134 | ¥401,245,099 |
| 5年後 | ¥1,711,200,703 | ¥101,317,135,091 |

↑ 勝率が低くても、トレード回数を増やせば利益が増える例

もしあなたが、厳選したトレードで勝率を高くしたいなら、3つの指標が全てそろったときにポジションを取るようにするといいでしょう。低い勝率でトレード回

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

数を増やし、短期間でお金を増やす可能性にかけるなら、移動平均線とMACDのどちらか（または両方）を外してトレードしてもいいと思います。

なお、長時間足より短時間足の方が、トレードチャンスが増えます。つまり、4時間足より5分足の方が、トレードチャンスが多くなります。トレードチャンスを増やしたいなら、短い時間足を使うようにするとよいです。ライントレードは時間足と通貨ペアを選びませんので、トレードチャンスはたくさんあります。

ただ、トレード回数が増えるほど忙しくなり、ミスも増え、勝率が下がる傾向にあります。これらを考慮し、あなたの生活習慣等に合ったトレードスタイルを決めて下さい。

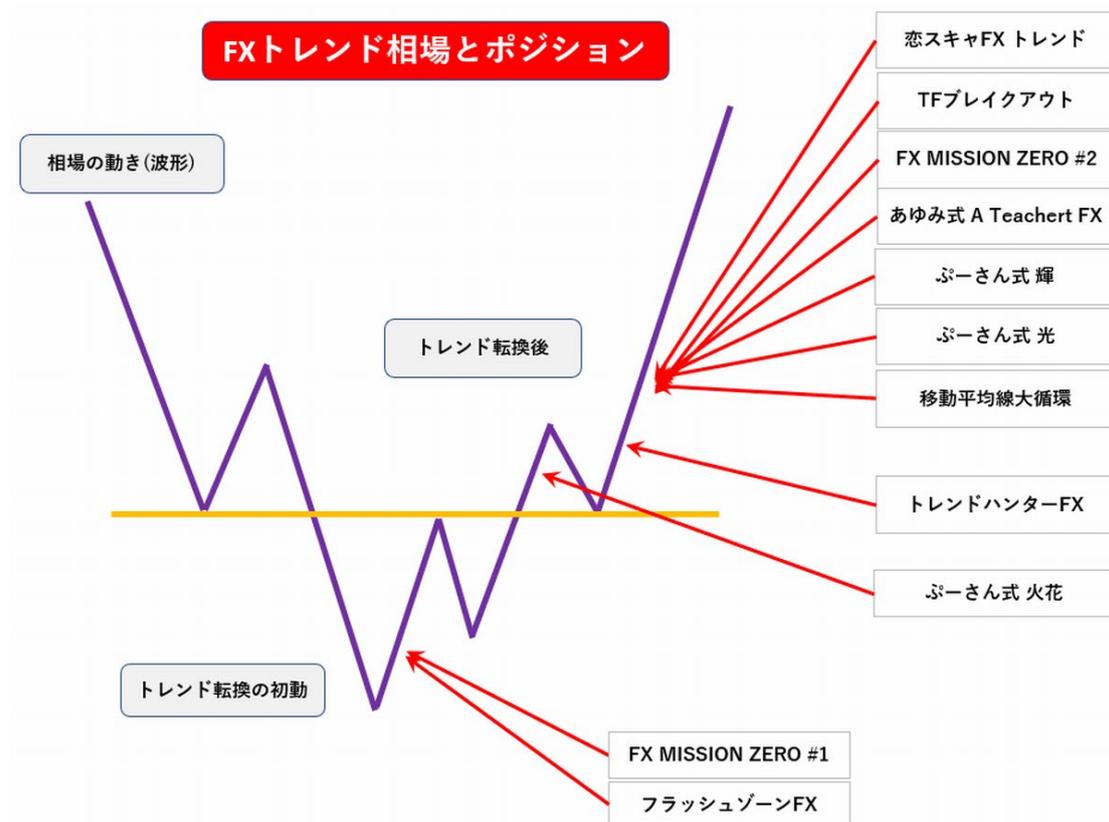
ちなみに私は、4時間足で20～28通貨ペアを対象にトレードをしています。午前10時と午後6時の2回、4時間足をチェックします。1日のトレード時間は、10分から30分程度です。

FX 情報商材とライトレードの比較

ここで、ネット上で販売されている、いわゆる「FXの情報商材」とライトレードを比較してみましょう。

あなたもネット上に数万円する「FX情報商材」がたくさん販売されていることを知っていると思います。これらの手法とライトレードはどう違うのかという争点です。

まず、下記の図を見て下さい。これは私が実際に情報商材を購入し分析したものです。数万円で販売されている情報商材の各手法が、ライトレードのどのタイミングでポジションを取っているのか、分かると思います。



※各教材では、複数のトレード手法が解説されていることがあります。その場合は、代表的なトレード手法を採用しています。
※各手法では、オリジナルのトレード手法の他に、勝率を上げるためのロジックが解説されています。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

ここで言えるのは、どのトレード手法も、大抵同じ場所でポジションを取っていることです。それぞれのロジックは、一見異なるように見えますが、実はほぼ同じタイミングを判断しているのです。

ちなみに「トレンドの初動」を捉える「FX MISSION ZERO のロジック 1」や「フラッシュゾーン FX」は、ライトレードとは異なるポイントでポジションを取っているように見えます。しかし、時間足を短くすれば、ライトレードでもこれらの情報商材を同じタイミングでポジションの判断をすることができます。

この分析では、少し前のFX情報商材を対象にしていますが、最新のFX情報商材でも全く同じです。

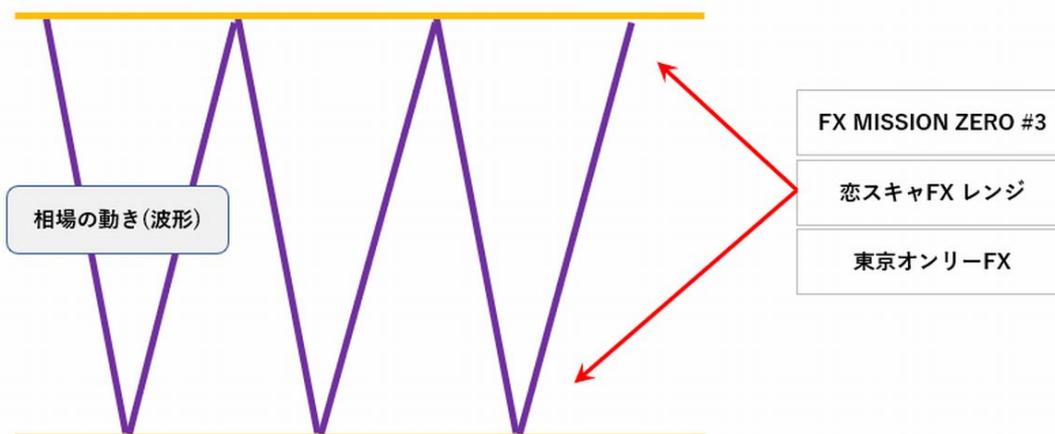
先述したとおり、相場には、「レンジ相場」と「トレンド相場」の2つしかありません。

FXトレードでは、どうやってレンジ相場とトレンド相場を見分けるか、どのタイミングでポジションを取るかを判断します。その判断方法に、ラインを使うか、移動平均線か、MACD か、ボリンジャーバンドか、それらの組み合わせを使うかの違いだけです。

ちなみに、レンジ相場では、次のようになります。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

FXレンジ相場とポジション解説



※各教材では、複数のトレード手法が解説されていることがあります。その場合は、代表的なトレード手法を採用しています。

※各手法では、オリジナルのトレード手法の他に、勝率を上げるためのロジックが解説されています。

あとがき

～あなたがFXの勝ち組になるたった1つのこととは？～

著名なビジネスパーソンから聞いた話です。

300人以上集まるセミナーで講師をしていたその人は、聴衆に向かってある質問をしました。

「ナポレオン・ヒルの『思考は現実化する』という書籍を知っている人は、手を挙げてください。」

ほとんどの人が手を挙げました。

ナポレオン・ヒルの『思考は現実化する』は、成功法則の古典的書籍です。あなたもタイトルくらいは聞いたことがあるでしょう。

次に「『思考は現実化する』に書かれていることを実践すれば成功すると思う人は、そのまま手を挙げ続けてください」

ほとんどの人が手を挙げ続けました。

最後にこう尋ねました。

「では、『思考は現実化する』を実践したことがある人、あるいはいま実践している人は、そのまま手を挙げ続けてください」

全員が手を下げました。

10年分のFXノウハウをなんと3ステップで学べるシリーズ

つまり、成功する方法が目の前にあり、誰もがそれを信じているのに、ひとりも実践していません。

いまあなたは、FXの成功法則を手に入れました。

あなたは実践する人ですか？ それとも…



山村 敦